

マンガ・アニメ好き集うカフェ



「ポップカルチャーの発信地に」と語る「ゆめみ茶屋」店主の山本琴美さん―御坊市

マンガやアニメ好きをターゲットにしたカフェが、空き店舗の目立つ御坊市の商店街に昨年10月オープンし、じわじわと人気を集めている。近くにはゲーム・アニメの「聖地」がある一方、ファンが気軽に立ち寄れる店のないことを隣の美浜町在住

のコスプレイヤーの女性が知り、利用のなかった市の空き店舗対策の補助制度を初めて活用。純喫茶跡の建物を理想の店に改装した。異色のカフェが商店街を活性化させるか注目が集まっている。

(尾崎豪一)



▶和歌山支局
〒640-8154
和歌山六番丁43
ハピネス六番ビル7階
TEL073 (422) 1915
(422) 1783
FAX073 (435) 3018

御坊の商店街 空き店舗改装

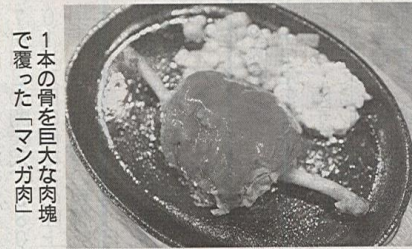
「聖地巡礼」ついでに利用を

■アニメ風の料理
カフェは「ゆめみ茶屋」。年季を感じさせる木材を薄暗い明かりが照らすシックな雰囲気の内には、古びた本棚に所狭しとマンガやキャラクターのフィギュアが並ぶ。
メイド姿の店員が、アニメなどにヒントを得た料理「あにめし」を提供。マンガにはしばしば登場し、1本の骨を巨大な肉塊で覆った「マンガ肉」（税別800円）や、人気アニメ「ONE PIECE（ワンピース）」のキャラクターで料理人という設定の「サンジ」に着想を得た「船上コックの海鮮ピラフ」（75

0円）などユニークなメニューで客を楽しませている。
■楽しめる店を
店主の山本琴美さん（29）は、在住する美浜町で音楽カフェを経営する一方、アニメやゲームの登場人物などに扮するコスプレイヤーとしても活動。コスプレ撮影会やアニメソングのDJイベントなども開催している。
町はゲーム・アニメ「AIR」の聖地としてファンに知られ、遠方からも「巡礼」に訪れるが、近隣市町には気軽に立ち寄れる店が少なく、「近くにあれば」と要望する声をよく聞いて

身近な話題を含め、情報はこちらのEメールアドレスまでお寄せ下さい
wakayama@sankei.co.jp

ニュースはこちらも
ほかでは読めない 関西発 産経 WEST
sankei.com/west/



1本の骨を巨大な肉塊で覆った「マンガ肉」

いたという。
そこで山本さんは昨春、「趣味を楽しめる店を作りたい」と思い切ってポップカルチャーが満載でできるカフェの出店を計画。御坊市最大の商店街「ほんまち商店街」で約30年前に閉店したレトロな純喫茶跡を発見し、建物を改装して開業した。

■地元商店街も期待
商店街で働く知人の勧めもあり、空き店舗を利用する場合に改修費などを最大110万円補助する市の制度を活用。若者の新規出店などを促すため平成26年度に制度が創設されて以来、初の適用例となった。
オープン以来、和歌山市や白浜町など遠方からも多くの客が訪れ、客の年齢層も30〜50代を中心に幅広いという。
商店街は昭和50年代の約130店をピークに数が減り、現在は約50店まで減少している。活性化が課題となる中、市商店街振興組合連合会の坂井和夫代表理事は「商店街としても店に多く客が入り、活性化につなげてほしい。若い人が商店街に来るようになれば」とカフェに期待をよせる。
山本さんは「この地をポップカルチャーの発信地にしたい。関連イベントに参加したい人に、どんどん来てもらえる場所になれば」と話している。
◇
営業時間は午前11時半〜午後5時、午後8時〜午前0時。日曜定休。問い合わせは同店（0738・22・5115）。